

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館特別展・三鷹市考古学展示会

PALAEOLITHIC PERIOD ALONG MIDSTREAM NOGAWA

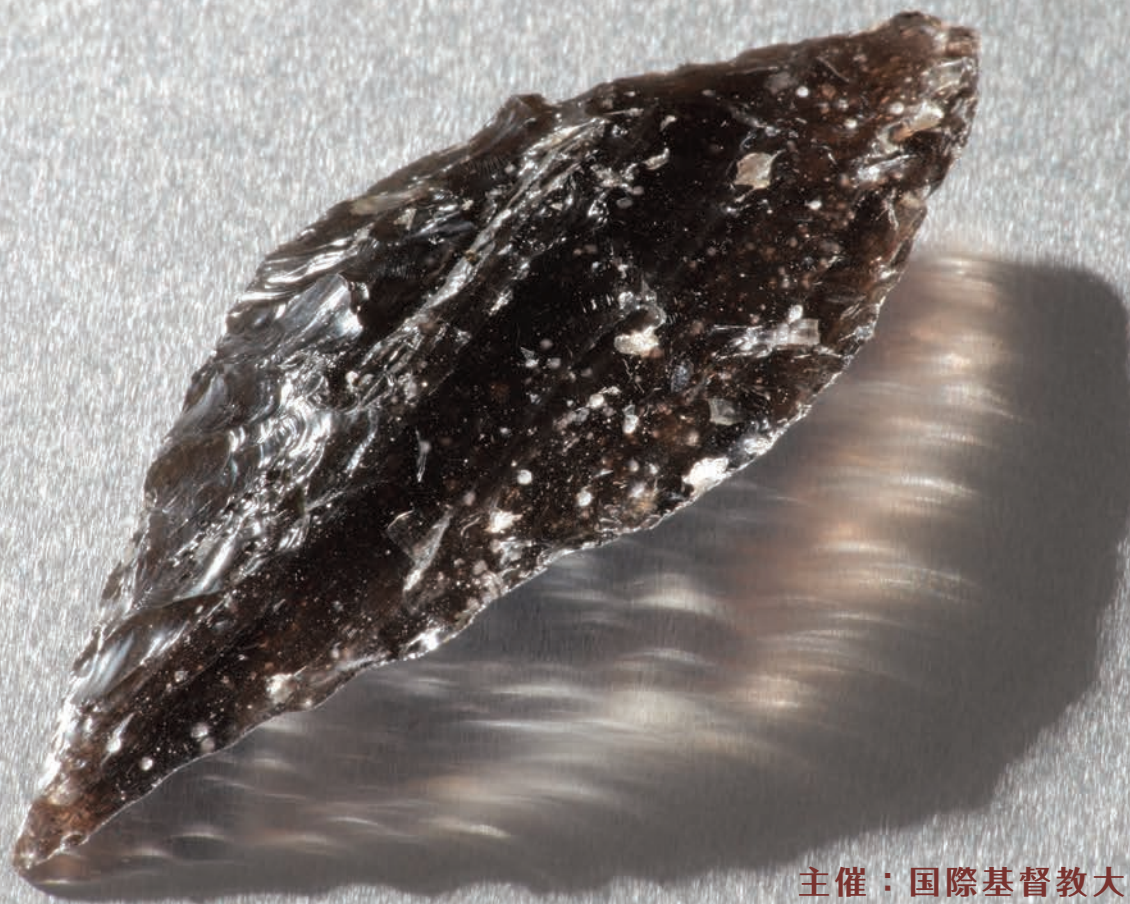
# 野川中流域の旧石器時代

ホモサピエンス 氷期の暮らし

2024年9月10日(火)～11月14日(木)

会場：国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

10/15を除く 毎週火曜日～木曜日・9/21(土)・10/13(日)・10/14(月/祝)の13:00-17:00 開館  
Open Tuesday through Thursday (except 10/15) and on 9/21 (sat), 10/13 (sun), 10/14 (mon), from 13:00 to 17:00



主催：国際基督教大学、三鷹市

協力：国立科学博物館、東京大学、明治大学博物館、調布市郷土博物館

ORGANIZED BY THE INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY AND MITAKA CITY,  
WITH THE COOPERATION OF THE NATIONAL MUSEUM OF NATURE AND SCIENCE,  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, MEIJI UNIVERSITY MUSEUM, AND CHOFU LOCAL HISTORY MUSEUM

◆ 入館無料 ◆ [https://subsites.icu.ac.jp/yuasa\\_museum/](https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/) ◆ e-mail: [museum-office@icu.ac.jp](mailto:museum-office@icu.ac.jp) ◆ ☎ 0422-33-3340 ◆

〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 交通：JR中央線三鷹駅/武蔵境駅南口より小田急バス「ICU行」終点下車（武蔵境駅南口よりタクシー10分）



国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館  
ICU HACHIRO YUASA MEMORIAL MUSEUM



三鷹まるごと博物館  
MITAKA MARUGOTO MUSEUM



# 野川中流域の旧石器時代

## ホモサピエンス 氷期の暮らし

本展示では、日本有数の旧石器時代遺跡の密度の高さで知られる野川流域の暮らしを取り上げます。特にICU キャンパスのある野川中流域は、X層という日本列島最古級の時代から、III層という旧石器時代終末期までのほぼすべての層より、資料が豊富に出土する地域として知られています。今回、この地域の資料を集成し、層位と地点により大きく異なる石器の違いが何を意味するのか、また間氷期と氷期の環境変動のはざまに生きた人類の具体的な生活の営みについて、一般向けに分かりやすく解説します。なお、本展覧会および講演会は国際基督教大学と三鷹市の包括連携協定に基づく「三鷹まるごと博物館」の取り組みです。



国際基督教大学構内遺跡第12地点  
地層剥き取り標本



野川遺跡出土石器



天文台構内遺跡V層下部出土  
ナイフ形石器

(表面 天文台構内遺跡IV層中部出土尖頭器)



国際基督教大学構内遺跡第15地点出土石器

第122回湯浅八郎記念館公開講座・三鷹市考古学講演会  
「野川中流域の旧石器時代 人と文化」

講師：長崎 潤一氏 早稲田大学文学学術院教授  
パネリスト：白石 浩之氏 愛知学院大学名誉教授  
林 徹氏 国際基督教大学非常勤講師

日時：2024年9月21日(土) 13:30 - 16:00 (開場 13:00)

会場：国際基督教大学トロイヤー記念アーツ・サイエンス館

聴講無料・予約不要・定員300名(先着順)

お問合せ：国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 TEL: 0422-33-3340  
三鷹市スポーツと文化部生涯学習課 TEL: 0422-29-9862

